

研究課題の名称

透析患者における糖尿病治療や尿酸意義を検討する

研究の目的及び意義

近年、高尿酸血症が腎障害・心臓血管病変の危険因子であるとする報告が多い。一方、糖尿病は、透析患者の生命予後に関与する重大なリスクファクターである。近年、種々の血糖コントロール経口剤が使用可能となり、透析患者においてもこれらの薬剤によりインスリン治療からの離脱が可能となる症例が臨床現場において散見される。今回は、透析患者における尿酸の役割を検討し、また糖尿病治療に関する経口剤検討

研究対象者の選定方針

音羽病院・音羽記念病院で過去に透析を施行した患者を対象とする

研究予定期間

承認日（2019年10月10日）から西暦2021年11月1日